

DV、ハラスメント、虐待など 支援のポイント

相談支援をしている人のための資質向上講座



7/21 (日)

13:30~15:30

ウィズ豊川 3階 研修室2

参加：無料 申込：不要

対象：相談支援をしている人
福祉関係者
民生児童委員 など

企画運営：豊川共生ネットみらい
問合せ先：豊川共生ネットみらい 事務局
090-6088-5309
mirai2001kara@gmail.com

相談者と良好な信頼関係を
つくるために必要なことを
学び合いませんか？

講師：

市川季夫さん 名古屋家族相談室室長
※かけこみ女性センターあいち
スタッフ

※DVを受けた女性のための
シェルターの運営、TEL相談、
同行支援、生活支援、外国人支援

豊川市パートナーシップ推進出前講座報告書

令和 1 年 8 月 7 日

令和 1 年 7 月 21 日に実施しました豊川市パートナーシップ推進出前講座について、下記のとおり報告します。

講座名	相談支援をしている人のための資質向上講座 「DV、ハラスメント、虐待など 支援のポイント」
場所	豊川市社会福祉協議会 ウィズ豊川 3階 研修室2
日時	令和 1 年 7 月 21 日 (日曜日) 13 時 30 分 ~ 16 時 30 分
人数	15人 豊川共生ネットみらい 7人 民生委員 4人 なのはな会 2人 フラット 2人
講師	かけこみ女性センターあいち スタッフ 2名 名古屋家族相談室室長 市川季夫
事業概要 スケジュール	<p>1. 講師の話 13:30~14:40</p> <p>①市川講師 いろいろな相談・相談の枠組み・相談者の態度 (姿勢)</p> <p>②かけこみ講師 なにが起こるかかわからない世の中・DVとは・かけこみ女性センターあいちにおける相談支援・相談支援対応の際の留意点・ことばの使い方・被害者像を勝手に作りあげない・支援をひとりで抱え込まない</p> <p>③かけこみ講師 ジェンダーに目覚めた経緯・女性差別・ジェンダー平等・性暴力・『介護する息子たち』平山亮著の紹介</p> <p>2. 質疑応答 14:40~15:50 活発な討論が行われました。</p> <p>①男性はなぜ『鎧』を背負っているのか</p> <p>②『助けて』の表現がなぜできないのか</p> <p>③精神障がい、知的障がいの方への対応はどうしたらいいか</p> <p>④この地域のジェンダー意識は依然として変わらないのは、どうしてか。</p> <p>⑤信頼関係 (ラポール) はどのようにつくったらいいか</p>

	<p>3. 交流会 15:50～16:30 時間不足で深めることができませんでした。 一端講座を閉会し、さらに質疑応答の内容を深めるために希望者だけで行った。豊川共生ネットみらいがかけこみ女性センターあいちとより密なネットワーク構築をするための話はできなかったが、今回はその一歩にはなった。</p>
<p>受講者の 学んだこと</p>	<p>アンケートより主な意見・感想の抜粋</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DVとは「殺人に至る虐待と人間の尊厳を踏みにじる行為」、男女間で起こる究極の暴力。 2. 相談者自身が自分で決めて行動に移すことを支援する。 3. 1つの機関だけと連携するのではなく、多くの関係機関とネットワーク化することが肝要。 4. 証拠の残らない目に見えない暴力部分に相談員が気付くこと。 5. 相談者の学習性無力感（その状況から逃れようとする努力すらしめない心の麻痺）に注視する。 6. DV、ハラスメント、虐待などの要因には無意識の思い込み・ジェンダーが隠れている。 7. 他者を人として対等に見られない思い（考え）が、個人の中にも社会の中にもある。
<p>講座主催者 としての感想</p>	<p>社会がDV被害者に対して抱く被害者像とは、弱く感情的であり自分で決定する事が出来ないなど、被害者像を勝手に作り上げていることが問題であり、相談者が置かれている状況、精神状態に着目することなく、表面的な状況判断で留まっているように感じました。</p> <p>被害者は被害者という生き物ではなく、虐待により心と身体が弱っていても心の奥底には生きるチカラを持った同じ人間です。</p> <p>この被害者像が意味するものは、『無意識の思い込み・無意識の偏見』（アンコンシャス・バイアス）です。</p> <p>DV 被害者といえば女性と思われがちですが男性もいます。</p> <p>なぜ男女は平等にならないのか？</p> <p>社会の中で男性が女性を低く位置づけをすることで男性優位をつくります。男は偉い・・・、これも思い込みではないでしょうか。</p> <p>女性を一段低く位置づけることで、優位性は保たれたまま『鎧』を無意識に着</p>

込んでいるように思えます。

その重たい『鎧』を「着せられている」と感じています、実は自分から着ていることに気付かないのです。とても苦しいと思います。

DVも無意識の思い込みもジェンダーも、単体ではなく全て繋がっています。思い込みから解放されていくと、人との関係が楽になり生活が充実します。

男女が、それぞれ、同じひとりの人間として互いに尊重し理解することで平等が生まれると確信します。

豊川共生ネットみらいの全ての事業は、多方面の気づきを得ることができ人間としての成長を促すものとして開催されます。それによって、豊川共生ネットみらいも受講生自身も、社会的視点が養われ社会貢献ができます。

DV、ハラスメント、虐待の無い社会こそが、男女共同参画社会ではないでしょうか。男女共同参画社会の組織づくりは、行政と民間・市民が共創する局面に今既に入っていると考えます。

【今後について】

・現在、相談を受ける場合、ウィズ豊川のロビーを使用しています。相談者が落ち着いて話すことができ相談員もきちんと聴くといった雰囲気を整えることに大変苦慮しています。現在、相談者が増えて相談回数も多くなり、誰にも邪魔されない部屋を求めています。

・豊川共生ネットみらいの2019年度の方針に掲げている相談事業の充実のために、今回、相談事業に携わる方を募集しました。残念ながら希望者はありませんでした。

この講座は、豊川市パートナーシップ出前講座でしたので、豊川共生ネットみらいからの出費はありませんでした。